

ひがしそ のぎ



# 議会だより

第 156 号



平成28年10月8日 少年相撲大会

## 12月定例会

町政を問う！7人が一般質問 .....	2～5ページ
平成28年度補正予算 .....	5ページ
条例の制定等 .....	6ページ
議会活動報告 .....	7ページ
新年の挨拶 .....	8ページ

# 一般質問

(本稿は質問者の責任で作成しています)



岡田伊一郎 議員

## 水道未普及の改善は

【議員】水道が敷設されていない一部の地区への取り組みと事業経営の健全化は。

【町長】水道がない地区から陳情が出されたこともあったので、皆さんが水道の恩恵を受けられるよう推進したい。

来月4月1日から地方公営企業法が適用され、独立採算を目指す必要がある。

しかし、人口減少や水道使用量の減などがあり、将来的には値上げも考えなければならぬが、一気上げるわけにはいか

ない。また、老朽化した水道管の更新等もあり、今後は長期的な経営戦略を考えていかなければならないと思う。

## 先進的小中一貫教育は

【議員】長崎県は2020年度までに全市町での導入目標を掲げている保護者や地域の声を学校運営に反映させる「コミュニティースクール」制度があります。

教育計画の承認や人事要望などの一定の権限と責任を与えるようになっていきます。

今後、どのように取り組まれるのか。

【教育長】保護者や地域住民から構成される学校運営協議会を設置し、積極的に学校に関わってもらえることを目指し、地域とともにある学校づくりを進めている。

【議員】職員が地域へ出て、千綿人形浄瑠璃などの地域行事に参画し、互いに信頼できる関係の構築については。

【教育長】これからは、そういうものが、学校運営に必要になってくると考えており、積極的に関わっていくことが重要である。

【議員】学校の意識改革と校長のリーダーシップについては。

【教育長】町内の学校では、校長を中心に、すでに取り組みを始めており、協議会を実施したところがある。

【議員】教職員のストレスチェックはどうするのか。

【教育長】職員数50人以上の学校が対象であるが、今後は町内の各学校でも実施していきたい。



大石 俊郎 議員

## まちづくり応援交付金 不正受給の疑い 町長 調査を連発・謝罪

【議員】「赤木(千綿)の柵田と自然を守る会(以下赤木柵田の事業)」と「菌ちゃんいっぱいふやし隊の事業(以下菌ちゃん事業)」に、昨年度交付された交付金は約282万円。その交付金で購入された粉砕機、管理機等を、町民の方々に有料で貸し出す事は、町の規則に抵触していないのか。

【町長】違法性もあるかなどは思うが、色々あるから一概には言えない。その事実を把握していないので、実態調査をして、補助金の返還を求める事になると思う。

【議員】「東彼杵町情報交差点文ブクラブ」の事業において、道の駅の文ブコーナーを、有田陶器市の期間中、ギヤラ

リーに設置して、東彼杵町のPRを行う為、交付金20万円が交付された。文ブコーナーは片隅、実態は「焼き物、帽子等の販売」であったと店員の方が言っておられた。事実とすれば、どのような対応をされるのか。

【町長】調査を致します。不正があれば、それなりの処分を致します。

【議員】「赤木柵田の事業」と「菌ちゃん事業」の2つの事業。同じ柵田の中での事業。野菜を作る目的は一つ。交付金の二重取りと、思えるが。

【町長】ソフト事業ですから、場所は一致していても、違う事をやらなければならぬ。難しい問題もある。再度、調査をしたいと思う。

【議員】「ミエルカソノギの事業」まで含めると、同じ代表者に3件の事業が集中している。この事に対する町長の見解は。

【町長】非常に問題があると思う。それぞれ事業が異なることを説明を受けていた。白黒つけて調査をしたい。

【議員】「赤木柵田の事業」と「菌ちゃん事業」の野菜作り指導として、



前田 修一 議員

## 副町長の選任について

【議員】平成27年6月末に前副町長が退任されたのちに不在の状況が続いている。現時点での、副町長の選任の状況を尋ねます。

【町長】外務省、総務省へお願いをしているが、給与の件がネックとなり、現在応募がない。町民からの採用も考えている。どなたでもやる気のある人は、採用する。

【議員】国、県の職員ではなく、東彼杵町の職員から、登用すべきである。給与の半額は撤回して、退職金の割増し等考慮して若い人材を登用すべきである。役職が人を育てると言われている。

【町長】若い人には、保証がない。すでに退職者には、退職金が出ているのだから、やる気のある

方は採用したい。今後鋭意努力します。

【議員】町長、副町長の体制は任期中に解決すべきである。

【町長】鋭意努力します。

## 大村湾水産業対策について

【議員】従来の対策事業で効果が期待できない現状である。新事業が考案されていないか尋ねます。

【町長】多面的機能対策發揮事業が平成29年度に予算化される。大村湾の非酸素水帯解消を目指している。一漁業組合当たり45万円の負担となる。後継者不足が問題であり、6次産業化等の課題もある。

【議員】公海での海底耕耘は効果が期待出来ない。里漁港は設置が完了している導流堤の先に防波堤を設置するとの、前町長との約束がまだに出来ていない。町長の考えを尋ねます。

【町長】前町長との約束は確認している。なぜ取りやめになったのか、調査し、水産庁とも協議し検討していきます。



浪瀬 真吾 議員

## 旧大楠・音琴小学校の廃校舎の利活用について

【議員】地域との懇談会などの計画はどのように考えているか。

【町長】12月に各学校の住民アンケートを取り、跡地活用の公募を行い、年明け早々、利活用検討委員会を開催し、アンケートの集約や公募に当たった意見交換の実施をする。また、必要に応じて視察研修や事業者選定、地区別説明会をする。

【議員】職員の先進地視察などは、考えられないか。

【町長】今は、考えていない。必要な場合は、検討する。

【議員】担当職員ばかりでなく、プロジェクトチームなどの考えはないか。

【町長】学校跡地利活用検討委員会があるので十分分だと思ふ。

【議員】地域の住民皆様方による研究会などは考えられないか。

【町長】大いに作って頂き、地域で自主的に研究をして頂ければ全く問題ないので、いろいろな研究会を立ち上げてほしい。

【議員】利活用の規定等はどのように考えているか。

【町長】統合前に策定した学校跡地に係る基本方針に従ってやっていく。地域振興や地域活性化に寄与するものを原則として、公共施設に限定することなく、福祉事業や商業活動など雇用創出につながるような民間事業者による活用も積極的に検討していくとされている。但し、公益を害するものや環境悪化を招く恐れがある要素には転用しないと規定している。

【議員】きのくに子ども村学園の今後の進展については、どのように考えているか。

【町長】NPO法人など各種団体や個人からの要望で長崎東そのぎ子ども村小学校の開設希望をされている。町並びに教育委員会としては、人口

【議員】交付後の運営管理については。特にT型集落点検、千綿駅について尋ねます。千綿駅ではカレーの販売が始まり、安心しました。集落点検は今後人材育成を行われるようですが、今後の展開をお尋ねします。

【町長】千綿駅では、湯下さんの随意契約で、JRの3月末でのキャンペーンに合わせやっていたと思います。また、管理料として月額4万円を支払っています。T型の徳野教授には27年度339万円、28年度450万円を支払います。集落のマスタープランの作成及び地元のリーダーの育成も行ってもらいます。

【議員】千綿駅に多くの人が集まり、道の駅、龍頭泉、そして千綿駅を結んだバス路線の早期実現はどうか。

【町長】早急に検討します。

や交流人口の増加、地域振興や地域活性化につながるもので、また、文科省の教育方針等に沿ったもので、跡地活用の方法としては適正ではないかと考える。一つの選択肢として今後も進めていきたい。あくまで地域住民の意見聴取や議会の承認が必要であり、拙速にならないようにしたいと伝えている。きのくに子ども村学園ありきでなく、いろいろ議論をしながら進めて行く。

【議員】両校は、現在休校扱いになっていると思うが、例えば売却や事業を始めるとき、補助金の返還等は生じないのか。

【町長】有償となる場合は、国庫補助事業完了後10年未満は該当するが、10年を過ぎていたので該当しない。承認申請が必要で、積立てをしなければならぬ。無償の場合は問題ない。



【議員】「跡地利活用検討委員会」が設置されていますが、きのくに子どもの村学園についての検討委員会は開催されたのか。

【町長】きのくに子どもの村学園については、良い学校だと考えています。現時点では選択肢の一つであり検討をするところまでは至っていません。

【議員】ここに、町長名で出されている回覧文書があります。内容としては「きのくに子どもの村学園による施設利活用の方向性を検討しているところであり、地域の皆さまのご意見をお聞かせ下さい」という趣旨のものです。町長は先ほど



森 敏則 議員  
実現できるか中学校統合

【議員】町長の「中学校統合は歴史を変えてでも成し遂げる」とした決意の真意を伺う。

【町長】子ども達の歴史を作ることであり、町民の理解がなければ成し遂げられない。

行政・議会系が一体となって何をすべきかを考えての行動が必要である。

【議員】今、統合にあたって最大の課題を伺う。

【町長】統合できなかつたことが課題である。

【議員】いますぐやる行動は、統合に対しての理解を求める説明が必要と考えるが対応策を伺う。

【町長】平成26年3月に、一部の人から反対の要望があった。

これからは、特に保護者等の意見を集約すると



立山 裕次 議員  
今後の旧大楠小学校跡地活用はどうなるのか

【議員】鳥獣被害対策の鳥獣被害の現状と今後は

【議員】鳥獣被害対策の鳥獣被害の現状と今後は

【議員】鳥獣被害対策の鳥獣被害の現状と今後は

【議員】鳥獣被害対策の鳥獣被害の現状と今後は

【議員】鳥獣被害対策の鳥獣被害の現状と今後は

【議員】鳥獣被害対策の鳥獣被害の現状と今後は

【議員】鳥獣被害対策の鳥獣被害の現状と今後は

【議員】鳥獣被害対策の鳥獣被害の現状と今後は

【議員】鳥獣被害対策の鳥獣被害の現状と今後は

【議員】鳥獣被害対策の鳥獣被害の現状と今後は

【議員】鳥獣被害対策の鳥獣被害の現状と今後は

【議員】鳥獣被害対策の鳥獣被害の現状と今後は

【議員】鳥獣被害対策の鳥獣被害の現状と今後は

【議員】鳥獣被害対策の鳥獣被害の現状と今後は

【議員】鳥獣被害対策の鳥獣被害の現状と今後は

【議員】鳥獣被害対策の鳥獣被害の現状と今後は

【議員】鳥獣被害対策の鳥獣被害の現状と今後は

【議員】鳥獣被害対策の鳥獣被害の現状と今後は

【議員】鳥獣被害対策の鳥獣被害の現状と今後は

【議員】鳥獣被害対策の鳥獣被害の現状と今後は

【議員】鳥獣被害対策の鳥獣被害の現状と今後は

【議員】鳥獣被害対策の鳥獣被害の現状と今後は

【議員】鳥獣被害対策の鳥獣被害の現状と今後は

【議員】鳥獣被害対策の鳥獣被害の現状と今後は

【議員】鳥獣被害対策の鳥獣被害の現状と今後は

【議員】鳥獣被害対策の鳥獣被害の現状と今後は

【議員】鳥獣被害対策の鳥獣被害の現状と今後は

【議員】鳥獣被害対策の鳥獣被害の現状と今後は

【議員】鳥獣被害対策の鳥獣被害の現状と今後は

【議員】鳥獣被害対策の鳥獣被害の現状と今後は

【議員】鳥獣被害対策の鳥獣被害の現状と今後は

【議員】鳥獣被害対策の鳥獣被害の現状と今後は

【議員】鳥獣被害対策の鳥獣被害の現状と今後は

【議員】鳥獣被害対策の鳥獣被害の現状と今後は

【議員】鳥獣被害対策の鳥獣被害の現状と今後は

【議員】鳥獣被害対策の鳥獣被害の現状と今後は

【議員】鳥獣被害対策の鳥獣被害の現状と今後は

【議員】鳥獣被害対策の鳥獣被害の現状と今後は

【議員】鳥獣被害対策の鳥獣被害の現状と今後は

【議員】鳥獣被害対策の鳥獣被害の現状と今後は

【議員】鳥獣被害対策の鳥獣被害の現状と今後は

【議員】鳥獣被害対策の鳥獣被害の現状と今後は

【議員】鳥獣被害対策の鳥獣被害の現状と今後は

【議員】鳥獣被害対策の鳥獣被害の現状と今後は

【議員】鳥獣被害対策の鳥獣被害の現状と今後は

【議員】鳥獣被害対策の鳥獣被害の現状と今後は

【議員】鳥獣被害対策の鳥獣被害の現状と今後は

【議員】鳥獣被害対策の鳥獣被害の現状と今後は

# 28年度補正予算すべて可決

- 28年度一般会計補正予算（第3号）**  
歳入歳出にそれぞれ6252万5千円を追加し、総額をそれぞれ53億7556万6千円とするもの。
- 28年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）**  
歳入歳出にそれぞれ1215万3千円を追加し、総額をそれぞれ15億4095万3千円とするもの。
- 28年度介護保険事業特別会計補正予算（第2号）**  
歳入歳出にそれぞれ31万5千円を追加し、総額をそれぞれ9億2332万2千円とするもの。
- 28年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）**  
歳入歳出にそれぞれ29万7千円を追加し、総額をそれぞれ9929万7千円とするもの。
- 28年度簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）**  
歳入歳出にそれぞれ1億4306万5千円を減額し、総額をそれぞれ6億8577万8千円とするもの。
- 28年度公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）**  
歳入歳出にそれぞれ493万1千円を追加し、総額をそれぞれ3億3563万1千円とするもの。

【議員】鳥獣被害対策の鳥獣被害の現状と今後は

【議員】鳥獣被害対策の鳥獣被害の現状と今後は

【議員】鳥獣被害対策の鳥獣被害の現状と今後は

【議員】鳥獣被害対策の鳥獣被害の現状と今後は

【議員】鳥獣被害対策の鳥獣被害の現状と今後は

【議員】鳥獣被害対策の鳥獣被害の現状と今後は

【議員】鳥獣被害対策の鳥獣被害の現状と今後は

【議員】鳥獣被害対策の鳥獣被害の現状と今後は

【議員】鳥獣被害対策の鳥獣被害の現状と今後は

# 議会活動報告

## 総務厚生常任委員会

### 廃校跡地の活用についての調査

去る11月15日廃校々舎活用についての事例がある大分県国東市を、総務厚生常任委員会と産業建設文教常任委員会の合同による現地視察調査を実施しました。

国東市は、平成18年に合併された人口約28,000人、面積318km<sup>2</sup>の市で少子高齢化による児童生徒数の減少に伴い、平成19年度末から23年度末にかけて19の小中学校または幼稚園が廃校廃園となっている。

校舎や体育館・園舎は老朽化が激しいものから解体され、残った施設や土地は法人事業や会社事業・団体事業・事務所・地域活動・太陽光発電事業等に活用され、有償や無償で貸し出されている。(現在、空き校舎等は無し)

廃校々舎の活用については、地元の要望に応えるため、廃校2年前から地元が中心となって活用についての要望をまとめ、また、企業を誘致したりして執行部もそれにきてきたという事であり、地域によっては、職員が戸別に回り、全世帯の住民の意見をよく聞きながら調整し、説明会などは一回も開催していないとのことである。

概要説明を受けた後、社会福祉法人安岐の郷朝来サポートセンター鈴鳴荘と株式会社アキ工作社を視察した。



大分県国東市

## 産業建設文教常任委員会

### 町内小中学校の「全国学力調査の成績」と「不登校・いじめ」の実態

10月3日、教育長、教育委員4名、教育次長、学校教育係長と意見交換会を行った。

4月に実施された全国学力調査では小学校の国語A・B、算数A・Bの4科目全てで全国平均、県平均を下回っていた。特に応用問題であるB問題で全く解答が書かれていない無解答が多かったそうである。しかし、中学校では昨年に引き続き国語A・B、数学A・Bの4科目全てで全国平均、県平均を上回っていた。教育委員会では言語活動、NIE、ICT教育などのアクションプランを引き続き実践すると共に、更なる家庭学習の充実を図り、継続的な学力向上に取り組んでいくとの事であった。

次に、不登校(30日連続して欠席)児童・生徒については、小学校1名、中学校3名いるが毎年減少傾向にあるとの事である。今後、不登校ゼロを目指し、早急な家庭訪問と本人・保護者との懇談及び全職員での理解と対応に取り組んでいくとの事であった。

また、いじめについては、現在は確認されていないが、「東彼杵町いじめ防止基本方針」を策定して今後の生活指導、生徒指導にあたるとのことである。また、全国的に急増しているスマートフォンによるいじめ対策としては、各家庭における話し合い、使用時間の取り決めの徹底などを実施しているとの事であった。

# 行政財産使用料条例の制定、可決

地方自治法の規定により許可を受けてする行政財産の使用に係る使用料について、必要な事項を定めるもの。

### 一部修正する動議が提出されたが否決

土地、建物、自動販売機設置場、無更新地、テント場の使用料を定める条例の中で、自動販売機設置場については、売上額に10%を乗じた使用料を徴収する事とされていたが、これまで通り使用料を1台につき年1万2千円で良いとする修正動議が提出されたが否決された。

### 修正動議が提出された理由(概略)

その目的は収入増を期待して本町財政に寄与するとしながら公益団体や福祉団体への貸付は100%の減免も有り得るとのことであった。

つまり、民間事業者が対象であり特定を狙った不平等条例と言わざるを得ない。

利益が出た人には税で徴収するのが本筋であり、それが公正公平だろう。これは、二重課税に等しい。月々の徴収(事務)手数料を考えるとマイナスになる等であった。

### 賛否表(修正動議に賛成○、反対×)

口木	吉永	岡田	前田	橋村	立山	大石	浪瀬	森	堀
○	×	×	○	○	×	×	○	×	×

### 龍頭泉いじめの広場の指定管理者の指定について次の者が指定された。

団体の名称	株式会社パパスアンドママス(アパレル系販売会社)
住 所	長崎市江戸町1番11号
代表取締役	城島 薫
期 間	平成29年2月1日から平成32年1月31日まで

### 反対討論

いじめの広場の町民利用率、1割の現状と年間指定管理料408万円と施設維持費1000万円以上の税金を注ぎ込む費用対効果はあるのか、下水道償還、ゴミ処理施設の負担金、道路、水道等将来莫大な資金を必要とする。この機会に閉園する事が望ましい。

### 賛成討論

公募したが当初、全く応募がなく担当者の努力により、やっと応募があった。ここで否決されると白紙にもどる、本町の貴重な財産と言うべき施設を休眠や閉鎖に追い込んではいけません。

### 賛否表(指定に賛成○、反対×)

口木	吉永	岡田	前田	橋村	立山	大石	浪瀬	森	堀
○	○	×	○	○	×	×	○	×	○

## 新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

町議会を代表致しまして、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

町民の皆様におかれましては、輝かしい新春をご家族お揃いでお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃から町議会に対しましては、温かいご理解とご支援を賜りますことに心からお礼と感謝を申し上げます。

我が町におきましては、少子高齢化が進む中、企業誘致や空き家活用、併せて郷土芸能の掘り起こしなど、地域おこし協力隊の活用と町民皆様方のご協力の下で、町の活性化に鋭意努力致しているところであり、町民皆様方の英知を結集していただき、今後ともご理解の上、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

昨年、著しい児童の減少によって、4月1日には音琴小学校、大楠小学校、彼杵小学校の3小学校が統合され、全校児童235人、普通クラスが9クラス、特別支援クラスが2クラスで、新しい彼杵小学校が始まりました。教育環境が大きく様変わりすることになり心配を致しましたが、若さと柔軟な発想で乗り切り、落ち着いて勉強に励んでいただいております、今後の学力やスポーツの向上、並びに校風づくりに期待を致します。

閉校校舎につきましては、地域活性化に向けて取り組むと共に、ご理解を得て、より良い活用に努力をするということでありますので、地域住民皆様のご協力をよろしくお願い致します。

町議会と致しましては、町民皆様が少しでも幸せを実感できるよう常に初心に戻り、町執行部と協力し合いながら誠心誠意町政に取り組んで参る所存でございますので、今後とも町民皆様方のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びに、町民皆様方のご健勝とご多幸ご活躍、並びに幸多い一年と成られますようご祈念申し上げ、町議会を代表しまして新年のご挨拶と致します。

平成29年元旦

東彼杵町議会議長 後城 一雄



### 編集後記

師走から睦月へ、12月定例会分の内容を1月発行に合わせて新年号を意識しながら編集作業を急ぎました。

12月定例会は久々に緊張する場面がありました。

一つは、一般質問において詳細な証拠書類等を収集し執行部と対峙したことは意義あることであろう。

二つ目は、新規条例制定において一部修正動議提出してまで猛烈な反対があったが大方の賛同が得られなかった。

いずれにせよ、緊張感を持って対応することは議会として当然であろうと考えます。

平成29年が皆様にとりましてより良き年となるようお祈り申し上げます。